

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール グループホーム菜の花 清田館 2階 R4.3.18 札幌市提出

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全職員が毎年運営計画に、理念を共有した「運営」「ケア」「チーム形成」「人材育成」の各項目に目標をそれぞれ立案し実践に取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍継続により地域との交流ができていないが、町内会からの回覧版は継続され、敬老のお祝いをいただいている。年2回広報誌を町内会に発行し、事業内容や認知症について発信を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外的要因のコロナ禍で交流できなくても仕方がないのではないか。 ・ 別施設では、保育園等の子供の施設に折り紙のプレゼントなどを行い、返信をもらうなど交流している所もあった。 ・ 町内会への通信を簡素化して発行しやすく年3回発行。 ・ ご家族に送付している菜の花新聞を、個人情報に分からないよう工夫し、町内会向けに発行することも良い。 ・ 町内会行事への間接的に参加を試みてはどうか。しかし、町内会自体が活動していない事が多い。コロナの終息後、また地域との交流が活発化することを希望する。 		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍が長引き書面での開催であったが、普段の会議では参加が難しいご家族から貴重な意見をいただき、事業所や法人と検討を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告により安心感があり、施設の努力が見られている。 ・ 書面のみであると一方通行になり、ご家族の声が聴けない為、来年度運営推進会議や家族会ではスカイプでの実施を検討。 ・ ご家族が気軽に様子を尋ねやすいように管理者への電話窓口時間を設定。 ・ 対面での会議はなかなか出来ないようだが、書面や細目な電話連絡をし、施設側の努力が見られている。 ・ 検討を図っている状況が見受けられる。 		

4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍よりメールでの対応が多いが、アンケートなどは迅速に対応し、疑問質問がある場合には電話連絡し、連携を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携を図っている状況が見受けられる。 	
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束等適正化委員会実施や研修、指針の整備・周知など法人全体で取り組んでいる。最近では玄関の施錠についても統一を図り離設対策を実施した。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体拘束等適正化委員会を3カ月に1回実施しており、法人全体での共有が図れている。年2回の研修も実施しており、センサー・鈴の使用も拘束の一部と捉え取り組みを行っている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今年8月より「虐待防止の指針」が整備され、職員に周知を図っている。また虐待防止委員会も年4回を開催し、運営推進会議で内容報告するように計画を立てている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない <ul style="list-style-type: none"> ・ 虐待防止検討委員会を3ヶ月に1回実施し、研修も2回実施しており、虐待防止に充分務めている。 ・ 職員のストレス軽減等の要素もある為、さらに会議開催案内に「職員への一言」欄を設定し、家族の思いを「見える化」して直接職員へ繋げることを検討する。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修にて、権利擁護や制度について学ぶ機会を設けている。ご家族より質問があった際には、問い合わせできるように準備している。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	直近1年においては、契約締結・解約は発生していない。料金改定時には文章や口頭により説明、事業所内掲示も都度取り換えを行っている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	行事・レクリエーション、体操には入居者様の要望を普段より取り入れている。ご家族からは面会制限により来訪は困難だが、電話報告や手紙発送を多くし意見を都度募っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営推進会議を書面で行うことで、ご家族からの意見が多数上がってきている。また一方的な書面会議にならないようアンケート形式で実施することもあり、ご家族が意見を記入しやすい工夫をしている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者は毎月のユニット会議時のほか、リーダーにも窓口として職員からの意見や提案を聞くようにしている。代表者や法人全体としての会議は、感染予防の為、リモート会議にて対応している。		

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人として、各自が向上心を持って就業できるようキャリアパス制度構築・導入を急いでいる。また、勤怠管理システムが導入され、勤務状況や労働時間の適正化に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ 研修や面談通じてやりがいを持てる働きかけを行っている。その他にも業務担当や個人スキルに応じた日課の柔軟な対応など配慮、対応に努めていることが出来ている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により外部への研修には慎重に判断をしているが、法人では管理者や職員一人ひとりに応じて、各種研修や資格取得支援の受講費負担を実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ 職員の意思に沿いながら各種研修や資格取得支援に努めており、ほぼ出来ている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近々ではコロナ禍が継続しており交流は控えている。法人内の他事業所とは、リモート会議にてサービス内容の共有を図り、また個別での電話・メールのやりとりを行っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の身体能力・体調・人間関係等に応じて、家事や趣味活動に、得意なことが活かせる場を提供するよう支援している。入居者様より家事手伝いの声かけをもらうことや率先する動作も見られている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍ではあるが、窓越しの面会や Zoom でのリモート面会、友人やご家族からの差し入れ、電話の取次ぎを行っている。また、職員と故郷や馴染みの人を日常会話で話題にし、関係が途切れないように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍のため、直接的な交流は難しいが、リモートや窓越し面会で工夫が見られているが、耳の遠い入居者様との会話はうまく出来ていないこともある為、マイクとスピーカーを使って工夫してみるも良い。 ・ 夏場、コロナ感染状況が落ち着いていたら外にパラソルを立てての面会を試みても良い。玄関にビニールシートを使用している施設があった。 ・ 窓越しの際に携帯電話を使って、会話をしてみても良いと思う。認知症のため Zoom での面会、電話での会話は難しいと考えており、早くコロナ禍が終息することを願うばかりである。 ・ 関係が途切れないよう支援している状況が見受けられる。 		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常会話の中からの聞きとりや、ご本人の思いなどが把握しやすい独自のシートを作成し、望む生活に近づけるように職員全体で情報収集・共有に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月、職員全体でモニタリングを実施し、サービス内容を確認している。介護計画発行時には、ご家族に内容を電話又は文書にて報告し、意見を募るようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> 在宅確認表に職員の方々が母の様子を書いて頂けるようになり、とても楽しみにしている。母のまだ残っている能力を確認出来た。 各担当職員が介護計画作成出来るようになれば、さらにレベルが上がると思う為目指してほしい。 	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> カンファレンス中で協議し、介護計画発行の際には状況説明文書を添付するなど、ご家族への現状報告やご家族の意向も反映しやすくするなど努めている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別記録にケアプランのサービス番号を記入し、身体状況については項目ごとに専用のチェック表を用いている。毎日の引継ぎ時には管理者やリーダーが必ず参加し、状態確認や継続した観察ができるようにしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> 介護記録にサービスの実践状況が把握できるようになっており、情報を共有しながら見直しが、ほぼ出来ている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人やご家族の状況によっては柔軟な通院支援や申請代行業務を行っている。またコロナ禍においては、急を要する個別の物品においては買い物代行の対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 対応している状況が見受けられる。 		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	前項の感染状況下により、外出はもとより、地域資源の活用・交流などは難しい状況ではあるが、今後はデリバリーや通信などを用いて資源把握をしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響で地域との交流は難しい。必要最小限になり困難な中、継続して対応している状況が見受けられる。 		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月2回の訪問診療と週1回の弊社の看護師による健康チェックを行っている。ご本人、ご家族希望の病院受診時には、入居者様の病状経過を文書にして情報を伝えている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染予防の為、入院中の入居者様に面会はできなかったが、ご家族からの情報や、病棟看護師と連絡を密にし、早期退院と退院後の生活が円滑に進むよう連携に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関への情報提供や入退院に向けての連携が充分できている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に、重度化した際の指針と看取り介護指針について説明を行っている。また、病状や治療の範囲に応じて都度、ご家族、主治医、看護師、職員と話し合う場を設けている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> 重度化した場合の指針、看取りの介護指針など説明を行い、ご家族、医療機関との連携を図り、終末期への支援がほぼ出来ている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員全員が急変時に備え救急救命講習を受けている。ユニット内には初動対応や連絡先を掲示し、年1回以上の内部研修を実施し定期的に確認している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回以上の火災避難訓練では、夜勤専従職員も必ず参加できるようにしている。またコロナ禍ではあるが、必ず地域住民を設定し避難訓練を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 「菜の花だより」に火災避難訓練の行事予定を入れたら良い。 常に避難訓練を行う事により、全職員が避難方法を身につけ災害時に備えている。 避難訓練や定期的な内容をチェックは素晴らしいと思う。 各地で大きな災害が起きており、備えが十分できている旨、安心出来る。 	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> 災害時のBCPや法人内の連携マニュアルなど作成しており、災害対策がほぼ出来ている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修にてプライバシーを題材として、各入居者様についてどのようなことが当てはまるか、又、ケアでも画一的にならないよう、一人ひとりについての対応を毎月検討している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修を通して学ぶ機会や、入居者様一人ひとりに毎月話し合う場を設ける等、プライバシーの確保への取組がほぼ出来ている。 議事録を作成し全職員が周知・実行できるようにしている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各入居者様の気分や体調に合わせて食事や運動の中止・変更など対応している。また入浴については、職員都合になる時は必ず、ご本人の承諾を得るようにしている。			

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好き嫌いがある方には、代替え食を用意したり、レクとして普段食べられない献立を提供し楽しむよう工夫している。可能な方は調理にも参加して頂いている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・レクリエーションを通して食事を楽しむ工夫や、出前を通して食事意欲の向上に繋げる等支援が十分に出来ている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事への興味や認識が低下した方には食器やテーブルを変更したり、嚥下機能低下の方には、栄養補助剤をゼリーにし嚥下しやすくするなど工夫している。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食前の嚥下体操を都度改良し唾液分泌や覚醒を促している。食後にはチェック表を用いて、口腔ケアを実施している。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・嚥下機能向上の取り組みや口腔栄養スクリーニングにて評価、訪問歯科との連携を図る等、口腔ケアの維持・向上の支援がほぼ出来ている
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりに合う紙オムツを都度職員で話し合い変更している。又、トイレ案内は一人ひとりの行きたい時に合わせ行い、入居者様の意思や自発的動作を尊重している。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・排泄パターンや習慣を活かし適宜トイレ誘導を行っている。また、紙おむつの種類を本人合わせた種類にする等、個々に応じた予防への取り組みがほぼ出来ている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様一人ひとりが入浴を可能な限り楽しめるよう、湯温や浴槽に入っている時間を合わせている。又入浴剤も使用し香りや色を楽しんで頂いている。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各生活習慣を大切にし、部屋で過ごしたり、テレビを観たり、職員と会話して不安を取り除くよう支援もしている。又真っ暗を好む入居者様にはセンサーライトを用いたり、常夜灯の光量変更を行っている。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員が薬の内容を把握できるようユニット内に「薬情報ファイル」を設置している。内容に変更がある場合は、必ず引継ぎで確認を行い、業務日誌や診療記録、回覧等で周知を図っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・薬に関する事故報告書が少なく、ヒヤリハットが多く記入されており、法人全体で改善に取り組んでいる。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者様が各々で役割を持ち活躍できる場面を設定している。運動では、ユニット外や中庭を利用し気分転換を図り、個々の能力に応じてリハビリ器具を使い分けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 菜の花だより等で、いつも皆さんの笑顔がたくさんあり安心している。 ・ 難しさもある中で一人一人の楽しみを掴み、支援して頂いている。 ・ 出来る事が少なくなってくる中、一つでも関わられることは大切で良いことだと思う。 ・ 日常の様子を写真やコメント、電話などで知らせて頂き安心している。 		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在新型コロナウイルスの影響により外出は控えて頂いている。天気の良い日に中庭やベランダを活用し外気浴できるよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節やコロナ過では出来ないのは仕方がない。 ・ 外出が出来ない代わりに、ホーム内をレストラン風するなど工夫の提案。 ・ 少人数、短時間での地域ドライブを検討。 ・ 入居者様の健康を守ることに注力して欲しい。 		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	以前は買い物外出を支援していたが、前項同様控えて頂いている。可能な限り職員が希望を聞き取り、代行購入を行っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族や知人からの電話には子機を使用し、自室等で会話してもらうようにしている。またタブレットを導入しZOOM面会ができるよう整えている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共有部分や居室では、状況に応じて家具の配置を変更して、移動の安全に配慮している。また、自室が分かるような個性的な表札を設置したり、壁飾りや塗り絵、カレンダーなどで季節感を採り入れている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節に合わせた装飾や、安全に配慮して家具の移動、認知症状進行に応じての調整やご家族への相談など、居心地よく過ごせるよう整えている。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員側の思い込みや都合ではなく、入居様が要望を伝えやすい関係づくりや、選択できる様な工夫した声掛けを行っている。意思表示が困難な方には表情の変化等から汲み取り、時間をおいて再度聞き取りを行うようにしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前や面談時にご家族やご本人から聞き取り、生活歴や家族状況等の情報収集に努めている。入居後の暮らしが安心して継続できるようカンファレンスでサービスの立案、見直しを都度行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問診療医は24時間対応可能であり、体調不良が見られた場合には職員が連絡できる体制を整えている。安全面や環境面でもマニュアルがあり都度対応・改善を行い、ご家族に報告を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ 訪問診療との連携で健康面、医療面に留意し安全面、環境面にはヒヤリハットやマニュアルによりケア支援を受ける事がほぼ出来ている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居様は自分の個室を思い思いに整理したり、テレビを見たり、昼寝や夜更かしなどされ、体操や食事などの日課も職員からの強制はしないよう配慮している。他、年1回B3シート(暮らしの情報)を見直している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の馴染みの家具を持ち込むよう入居時に説明し、入居前の部屋の間取りの確認をしている。また後々でもご家族に写真を持ってきて頂き掲示したり、記念の花など飾っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ 馴染みの家具の使用や入居前に部屋の間取りを確認している。馴染みの物や大切な物が身近に持つ事がほぼ出来ている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により、感染予防対策の一環として外出することは控えていただいている。しかし必要な通院・受診に関しては、感染対策のもと外出を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍であるため致し方ない状況であると考えられる。 ・ 手作りなどでホーム内にて出来る事をして頂いている。 ・ ドライブスルーレクリエーションなどを開催し、近隣や地域との関わりを検討。 		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居様がケアや支援される立場に置かれるだけでなく、残存能力を活用し、個別に役割や楽しみごとを行う支援を行っている。毎月のカンファレンスで検討・見直しを図っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念のもと、入居様が笑顔で暮らしている場面を大切にしている。故郷や食べ物のお話をしたり、入居者様同士の会話を補助したり、家事を共同で行う等工夫して活動を支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ 入居者様同士の関係に考慮し、食席位置の工夫、会話の補助、家事を共同で行う工夫など、ほぼ出来ている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、近隣や地域との交流は自粛していただいている。	・ コロナの影響により、地域との交流は不可能であり、また一人ひとりの状況により、人との交流は現段階では難しい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により外出支援や地域交流、ご家族とのふれあいも十分にできていないが、職員等と安心して、笑顔で日々の生活が送れるようサービスの提供に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の中、仕方がない状況と思う。家族との面会方法で何か良い方法がないかと思っている。 ・ 毎日一言声を掛けるだけでも、入居者様は安心できる。 ・ コロナが終息するまでは仕方がない。 ・ 母としては「ずっとここに居たい」と言っているが A だが、娘としては母なりの望みがあると思う為評価 B とする。 ・ コロナ過であまり出来ていないと評価しているが、コロナという外的要因によって出来ていないのは仕方がない事、その中工夫を凝らしている。 <p>ご家族の意見でも充分できている意見からあまり出来ていない意見まで均等に分かれているが、ほぼ出来ていると評価して良い。</p>	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ コロナ過が長期化する中で地域との関わりはできていないが、特別な外的要因と捉えれば、制限の中ご家族とも情報共有を図り、入居者様は安心した日々を送ることができており、ほぼ出来ていると評価する。